

# GOVERNOR'S

## MONTHLY COMMUNICATION

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650 2016-17 May Vol.11

2016-17年度  
ガバナー月信

# 5

月号

## Vol.11



### 青少年奉仕月間

JOIN LEADERS  
EXCHANGE IDEAS  
TAKE ACTION

Rotary International



### CONTENTS

- |                      |                              |
|----------------------|------------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ ..... 1 | 6. 米山梅吉記念館便り ..... 12        |
| 2. ローターモーメント ..... 3 | 7. 地区通信 ..... 13             |
| 3. ローターコラム ..... 5   | 8. 2017年2月会員数の増減および出席率... 14 |
| 4. ローターの歴史 ..... 8   | 9. 2016-17年度2月会員の動き ..... 裏面 |
| 5. ローター情報 ..... 11   |                              |



### 人類に奉仕する ロータリー

2016-17年度  
国際ロータリー会長  
ジョンF. ジャーム

Rotary



2016-17年度 第2650地区

## 刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ



人類に  
奉仕する  
ロータリー



## 2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

新緑が目に眩しい季節になってまいりました。会長、幹事の皆様、貴クラブ会員の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先般開催されました今年度の地区大会には、RI会長代理として元RI理事、北清治ロータリー財団管理委員様ご夫妻をお迎えし、約2500名ものロータリアンの参加を戴き、盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

本年度は、ロータリー財団誕生100周年を迎える記念すべき年度でもあり、また、先の規定審議会によって、ロータリーが歴史的な大きな変革を迎えた年でもあります。

このような中2016-17年度ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長は、本年度のテーマとして Rotary Serving Humanity 「人類に奉仕するロータリー」を掲げられました。

ロータリーの112年の長い歴史の中で、その原点は奉仕 (Service) であり、人のために奉仕することがロータリーの神髄であるとジャーム会長は強調されておられます。

私は、このジャーム会長のテーマのもと、2650地区をさらに前進させるためには、ロータリーの主役である各ロータリークラブが、ロータリーの原点をしっかり見つめながら、夢を語り、理想の未来像を思い描き、そこから、いまを刷新 (Renew) することが必要だと訴えて参りました。

まず大会第1日目では、これからのロータリーを皆様と共に考え、夢を語り合う機会をご提供させて頂きました。第2日目は主役であるクラブ会長様や会員の皆様がロータリーの楽しさを実感でき、お互いに一年の成果を称え合い、友情を深め合うことに主眼を置かせて戴きました。今回、その目的を十分実現できたかどうか自信はありませんが、私どもの想いを少しでも

共有戴けましたら幸いに存じます。

さて、5月は青少年奉仕月間です。長い歴史の中で、ロータリアンはそれぞれの地域で青少年の支援に力を注いできました。青少年奉仕は、青少年や若者のためのロータリアンによる活動の価値を認め、そうした活動をさらに広げるようクラブに奨励するものです。そしてその根底には、「すべてのロータリアンには、若い人々が抱える様々なニーズを認識し、彼らの人間的・職業的成長を支援する責務がある」という考え方があります。

ところで、そのロータリーと青少年とのかかわりは、大変古く、ロータリーは創立当初から、青少年に関心をもち続け、その活動を支援し続けてきて参りました。

1908年のある寒い日に、貧しい身なりをした身体障害児の新聞売りの少年が街角で新聞を売っていました。偶然に、通りかかったあるロータリアンがその少年から新聞を買おうとしましたが、生憎、彼は、手持ちのお金はお札ばかりで、小銭を持っていませんでした。そこで、そのロータリアンは、少年の腕を取りながらロータリーに連れてきて、手短かに状況を説明して、例会場で5セントを借りました。さらに、自分が着ていたウールのセーターを脱いで、その少年に渡しました。その様子を見て、他の会員たちもすぐに状況を理解して、自分たちのシャツ、帽子、マフラー、ソックス、手袋までも少年に与えました。

さらにおよそ5ドルの金も集まりました。声を発する人は殆どいませんでした。帰りの馬車に乗った新聞売りの少年は、何年ぶりかの最高のおしゃれをしてその場を去ったのです。

このように始まったロータリーの青少年活動はその後、身体障害者の少女へのリハビリテーション実施、

肢体不自由児への教育事業、さらにはボーイスカウトの活動の支援へと広がって参りました。そして1962年には、ロータリークラブが提唱し後援する青少年のクラブとして、インターアクトクラブがはじめて、フロリダ州メルボルンにおいて設立されました。その後、1968年にはローターアクトクラブが誕生し、1974年にはRYLAが生まれるに至りました。RYLAというのはRotary Youth Leadership Awardsの頭文字を取った略称で、日本語では青少年指導者育成プログラムと呼んでいますが、このRYLAは青少年の心を育てるという意味では最もロータリー的なプログラムとされています。私たちの周りには、ボーイスカウトのリーダーやその他の様々な青少年のリーダーが沢山いますが、いわばそれらのリーダーを指導するリーダーを育てることが、私たちのRYLAに求められている役割だと思えます。

2010年、「青少年奉仕」はロータリーの第五の奉仕部門となりました。標準ロータリークラブ定款第5条に、次のように定義されています。

「奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである」。本年度、私はロータリーは単なる奉仕団体ではなく、奉仕する人を作る団体、つまり人づくりの団体であることを強調して参りました。そして、人を作るという観点から、最もロータリーらしい活動をしている分野が青少年奉仕活動なのではないでしょうか。

ロータリーには様々なプログラムがありますが、青少年関係のプログラムが一番多く提唱されているようです。インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム [RYLA]、青少年交換新世代交換など多くのプログラムが提唱され、毎年多くの青少年がこれらのプログラムに参加しています。

たとえば、青少年交換は、ロータリーで最も長い歴史を持つプログラムの一つですが、このプログラムでの経験は、今まで一つの国や文化しか経験がなかった若者たちに世界の大きな視野を広げます。一年後、見

違えるほど立派に成長した帰国学生の姿を拝見するとき、このプログラムの素晴らしさを改めて実感することができます。また青少年交換プログラムは、参加する青少年ばかりではなく、その家族にも多くのことを教えてくれます。

その他にも、平和センタープログラムや財団奨学金プログラムなどを通じてロータリーは若い人たちの人生を大きく変える機会を提供しています。

ところで、近年、青少年に対する活動の名称が新世代奉仕に変更されたり、また青少年奉仕に戻ったりと少し混乱を招いていますが、「新世代」という言葉を最初に使ったのは、アルゼンチン出身のルイス・ビセンテ・ジアイ元RI会長でした。そのジアイ元会長は、若い人々にロータリーのプログラムと活動にもっと参加してもらうことこそ、ロータリーの将来を確かなものとするためのカギであると信じていました。1996年のカルガリーRI国際大会で、ジアイ元会長は次のように述べています。「成功と失敗を分かち要素は、未来へのビジョンです。これは、かつてないほど真実であると言えます。新世代（青少年奉仕）は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか」

ロータリーの青少年プログラムは、生涯続くロータリーでの奉仕の出発点となるものです。青少年参加者たちと深い関係を築くことは、将来的な投資となるだけでなく、現在のクラブ活動の充実にもつながります。

是非、各クラブ様におかれましても、これからの日本の未来を育てる青少年の育成に更なるお力添えを戴ければと存じます。

今年度も残りあと2か月となりました。悔いのない年度になりますよう、最後まで全力でゴールを駆け抜けて参りましょう。

皆様のご健勝と貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2016-17年度ガバナー

刃根 荘兵衛

一里を歩んで<sup>たまたま</sup>行む人がいる  
一里を歩んで力をつける人がいる

二里を歩んで休む人がいる  
二里を歩んで汗の充実に感動する人がいる

三里に向かって足の動かない人がいる  
三里に向かって燃えだそうとする人がいる

つづけることは 常に第一歩から始める  
若々しい勇気と希望を持つことである  
つづけてこそ道なのである

石川 洋

# ロータリー モーメント

Rotary Moment



## 青少年奉仕活動に参加して

2016-17年度 ガバナー補佐  
福井 純史（京都八幡RC）

私がクラブで青少年委員長を務めているころ、クラブで「高校生と地域リーダーとの交流会」が開催された。その当時地区で新世代会議を開催してほしいという要請に応えたような形である。

この会には、ロータリアン13名と地元の2校の高校生代表（4名と5名、計9名）およびブラジルから留学していた青少年交換学生が出席した。

会長によるロータリークラブの紹介、ゲームの後、出席の高校生に自分の街の印象や問題と思うところ、学校生活の現状などをざっくばらんに語ってもらった。

ロータリアンからの質問やアドバイスにも積極的に発言があり、世代間のギャップはあるものの、お互いに実りのある意見交換ができたように思う。

予定時間が短く感じられるほど、和やかに高校生と交流を深めることができた。参加した高校生からは「良かった」「また開催してほしい」という感想があった。

日ごろ直に若者たちと対話をする機会が少ないので、高校生の意見を生で聴き、若者の現状を知ることができたのは貴重な体験であった。

参加した高校生に少しはロータリーのことを理解してもらったのだろうかと思いながら、彼らももう30代後半である。社会の第一線で働いている人、子育てに奮闘している人、地域社会に貢献している人…そんな人たちになっていれればと願うばかりである。

## 全日本RYLA研究会に参加して

2016-17年度 ガバナー補佐  
吉川 裕丈（京都洛西RC）

ガバナー会の協力をいただいて2008年度より毎年開催されている全国RYLA研究会には、第2650地区の新世代・青少年関連委員長は全回参加いたしております。

大会委員長には、RI元理事・第2710地区パストガバナーの南園義一氏（2015年度まではRI元理事・第2680地区パストガバナーの今井鎮雄氏）、大会副委員長には元RI RYLA委員会委員長の御手洗美智子氏らの役員の皆様で、年に1度34地区のRYLA及び青少年関連委員長が集い盛大に開催されております。特に2012年の第5回全国RYLA研究会において、RI青少年奉仕支援グループアジア担当エリア・コーディネーター 東京恵比寿RCの海沼美智子氏の「クロス・プロモーションで新世代奉仕を」のご講演が、これからの新世代・青少年奉仕には必ず必要となる事例報告があり大変役立つ内容であったと記憶しております。

2007年8月 RIウイルキンソン会長は、これからのロータリーのために青少年に対する奉仕が大変重要と考え、IA・RA・RYLA・RYEの4つの委員会メンバーをエバンストンRI世界本部に集結させ、初の「RI青少年プログラム合同会議」を開催されました。

この開催において新しい方向性、すなわち「クロス・プロモーション (Cross-promotion)」という概念が誕生いたしました。

クロス・プロモーションというのは、異なるものが提携することにより、それぞれが活性化し新たな価値を生み出すことを意味します。IA・RA・RYLA・RYEのRI青少年プログラムを総合的に活用することによって、それぞれのプログラムがより活性化し、それと同時に、各プログラムの中で、青少年が様々な経験を通し、様々な能力を培い、またロータリーに対する知識と理解を深め、より成長することを意味するということです。

実例として第2750地区のクロス・プロモーションを紹介いたします。

RYEとして1年間フランスに行った女子高校生Iさんは帰国してROTEXとなり、そのロータリークラブの推薦で地区RYLAに参加、そのセミナーで出会ったIAやRAのOBやOGそしてローターアクターや米山奨学生と交流を持ち、さらにロータリーファミリーでない一般の優秀な人たちとも幅広い交流を広げました。卒業後Iさんは、青山学院に進学しそこでローターアクトクラブを立ち上げ初代会長を務めました。さらにRYLA受講の経験により「国際RYLA」の参加資格を持っている彼女は、コペンハーゲンでの国際大会のプレコンベンションであった「2006年国際RYLA」に参加しグローバルな視点で刺激を受け、大学卒業後法科大学院へ進学して国際弁護士へ道を歩み、近年ロータリアンになったということでした。

このように青少年育成プログラムを活用して育った若きリーダーたちは、将来、地域社会や様々な組織において中心的存在になって活躍することは間違いありません。そしてロータリークラブに入会し、私たちの仲間入りしてくれることを確信いたします。

まさに青少年奉仕は会員増強と公共イメージに直結しているといっても過言ではないと思います。クロス・プロモーションの推進は、感動的で実りのある青少年奉仕・育成活動を世界中に繰り広げ、将来のロータリークラブを築き上げていくことと確信いたします。



## 誇らしい桜花のRIバッチ

2016-17年度 社会奉仕委員長  
北野 加代子 (栗東RC)

私は国際ロータリーバッチを大切にしています。それぞれの会長のお国のイメージを表したエンブレムだからです。

スーツの左襟にロータリーバッチとRIバッチを緊張して付ける時がロータリアンの喜びを感じる瞬間です。数ある中で2012-13年国際ロータリー田中作次会長年度のブルーグリーンの優しい色合いに小さな桜花と千羽鶴をあしらったバッチに思い出があります。

国際ロータリーの会長は、世界中のロータリアンをリードする人で、国際ロータリーの代表者です。30年ぶりに日本人が会長に選ばれました。ロータリーの歴史上、日本人の会長は3人目になりますが、名誉な事だと驚喜しました。

1996年ロータリーに入会した頃の頃、私は例会のたびに、「RIって?」「国際ロータリー 2650地区って?」「JCみたいに日本ロータリーってないの?」など、今思うと丁寧にお教え下さった先輩に感謝です。

2012-13年度国際ロータリー会長 田中作次氏、RI会長テーマは「奉仕を通じて平和を / Peace through Service」  
2013年5月17-18日世界平和フォーラムが広島で開催されました。

広島、ベルリン、ホノルルの3会場で開かれるフォーラムであり、クラブ国際奉仕委員長として参加を決め、クラブ会長と共に7名が参加しました。

「平和はあなたから始まる」をテーマにした2日間、私たちの日常生活や地域社会で平和を推進する方法について話し合いが行われました。平和をどのように定義するにせよ、「平和」がロータリーにとっての究極の、そして実現可能な目標であることを理解しました。

会場の広島国際会議場ロビーは世界中のロータリアンで溢れ会場は満員でした。指定された2階席からはステージは遙か遠く小さく見える田中作次RI会長のスピーチが始まりました。

「この方がRI会長…」胸が熱くなり、RIバッチに手をやりました。



# ロータリーコラム

—— 第11回 ——

2016-17年度ガバナー  
刀根 莊兵衛



## ロータリーは多様性(Diversity)をなぜ重要視するのか? —— ロータリーの多様性とは?その意義は? ——

ロータリーの中核的価値観にある5つ目の価値観は多様性です。多様性とは、一言でいえば「私たちがあらゆる面で異なっている」ということです。その中には、人種や性別、年齢、障害など目に見えるものもあれば、教育、性的指向、宗教、仕事のスタイル、思想や考え方など、より捕らえにくいものもあります。企業経営から見れば、多様性(Diversity)とは「市場の要求の多様性に応じて、企業側も人種、性別、年齢、信仰などに拘らずに多様な人材を生かし、最大限の能力を発揮させようという考え方」とも定義されています。

法政大学の坂本光司教授によれば、「経営とは、その組織に関わる全ての人々の永遠の幸せを実現するための活動」です。企業は、社員とその家族、取引企業とその家族、顧客、そして株主を幸せにする責任があります。つまり、人を大切にしない企業は存続できないということです。社員が自社に不平・不満、不信感を抱いているようでは顧客満足を得ることも、業績を高めることもできません。多様な人材を取り入れることで、組織が刺激を受けます。例えば、障害者雇用ならば、その最大の効用は、「職場が他人に優しくなること」だと指摘しています。優しくの意味は「お客様扱いをする」ということではなく、彼らが働ける環境や仕事を用意し、責任を持って遂行してもらうことです。健常者は「個性」に配慮することで他人を尊重することを学び、障害者は働く喜びや、自分が存在することの意義を知る

と云うのです。

多様性と言う価値観は、とかく日本人にはあまりなじみの薄い概念かもしれません。日本は島国であり、ほぼ単一言語を使う民族で構成されており、すぐ隣や身近に外国人と一緒に住むと言う経験がありませんでした。また、一つの集落が一同となって農作業をし、収穫をしなければ生活ができないと言う農耕民族特有の掟のようなものがあつたのかもしれませんが。そう言ったことから、人とは違ったことをする事、変ったことをすることは嫌われ、兎に角、皆と同じということが一番安心と言う雰囲気があつたのでしょうか。しかし、外国では国境線はいつも変化し、他民族が押し寄せることもあり、常に自分たちとは違う、多様性を意識せざるを得ない状況がありました。日本人にはその点あまり意識できない、少し苦手の感覚かもしれません。

昔、黒田元RI理事からお伺いした話ですが、黒田元RI理事がRIの理事会で他の理事から特に注意を受けたことは多様性と言う言葉であつたと言うことでした。それくらい、ロータリーの世界でもこの多様性という概念について大きな関心を持っているということなのです。前置きが長くなりましたが、ここでロータリーの言う多様性の定義について、もう少し考えてみたいと思います。

2008年RI理事会で決定された、多様性に関する声明はこのように書かれています。

『国際ロータリーは、個々のクラブの中にある多様

性の価値を認識する。ロータリーは、既存の会員規則の下、会員資格を持つ地域社会の人々について調査し、クラブに十分な範囲の人々を含めるべく努めるようクラブに奨励している。専門職や事業の職業分類、性別、年齢、宗教、民族といった点において地域社会を反映するクラブが将来の鍵を握る』(2008年11月理事会会合、決定 87 号)

また、RIの戦略計画によれば、ロータリーの多様性は次のように説明されています。

『ロータリーは奉仕の理念の下にすべての人々を世界的に結束することができる、私たちは信じています。会員組織において、また活動や奉仕において、私たちは職業の多様性を大切にしています。将来の成功の鍵を握るのは、地域社会の事業や専門職がくまなく代表されたクラブです。多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます』と書かれています。

つまり、ロータリーでは会員の職業分類の多様性、民族、さらには、会員の宗教や年齢や性別の多様性等も含まれています。そして、このような豊富な多様性を持つクラブ、地域を反映しているクラブは未来への成長のカギを握っていると考えているのです。

ところで、組織において多様性が無いのは、組織としてはリスクであると言われていています。ダイバシティーマネジメント（多様な人材の活用推進）は昨今企業をはじめいろいろな組織において注目されています。その背景にはグローバル化する経済や組織と言うことがあります。また同質な集団では、似たような発想ばかりとなり、イノベーションが起きにくく、組織も活性化しないという認識が、欧米を中心に強くあるのです。

最近、多様性 (Diversity) をインクルージョンと表現する例が増えてきました。インクルージョンには包含、つつみこむと言う意味があります。組織に多様な人材がいる状態に留まらず、多様な人材が真に組織の中で能力を発揮できるようにすることを目指しており、多様性 (Diversity) の進化形・発展形として注目されています。

最後に、ロータリーにおける多様性 (Diversity) については、ロータリアンの多様性以外に、ロータリークラブでは、加盟クラブの多様性や会員資格そのものの多様性ということも視野に入れなければならないと思います。現在、ロータリークラブの新しい形態として話題となっている、Eクラブや衛星クラブやさらには昨年の規定審議会で決定された柔軟性のあるクラブ運営などは、これから20年先30年先のロータリーという組織をさらに持続的に発展させるうえでは必然的な流れかもしれません。特に、会員の種類の柔軟性、例会や出席に関する柔軟性などは、多様性のある会員をロータリーに迎えるうえで、検討しなければならない課題となるでしょう。とにかく、今までとは違ったものを受け入れる、ロータリーの寛容と懐ろの深さがこれから最も求められることかもしれません。

浜矩子氏（同志社大学教授）は今日のグローバル社会における多様性をジャングルにたとえながら、その必然性を訴えています。ジャングルで一番強いものと言えば百獣の王ライオンと言うことかもしれませんが、実際は、ジャングルではライオンだけしかないということはありません。ジャングルには百獣の王のライオンから小動物たち、草木、果てはバクテリアまでそれぞれ生きている。つまり、別に強いものだけしかない世界ではないということです。強い者は強い者なりに、弱い者は弱い者なりに、多様な個性と機能を持ち寄って、生態系を支えているのです。これがグローバル社会であり、このグローバ社会は弱肉強食の生存競争ではなく、むしろ多様な個性と機能を持ち寄ってお互いに支えて、ジャングルというものを維持しているということなのです。ある意味では、多様性の組織や社会では、互いの分かち合いが自然と成立しているということになります。“Share”という言葉がありますが、市場を独占する意味の“Share”ではなく、分かち合いの意味の“Share”に代わってきたということだと思います。この概念は、まさに、ロータリーが目指す、他者への思いやりの心にも通じる概念かもしれません。人間性重視文化ということがよく言われます。人間性重視文化ではみんなが参加し、メンバーは互いに支え合い、助け合うことが期待されていて、人

の助言や考えに興味を持っています。

人間性重視文化を持っている組織のメンバーは、次のような特徴があるといわれています。

- ・人を助けることに関心を払う
- ・決定を下すときに、その決定に影響を受ける人を巻き込む
- ・対立を建設的に解決する
- ・人が成長し、能力が高くなっていくことを助ける
- ・聞き上手である
- ・人に対して肯定的な報奨を与える
- ・人と時間を過ごす
- ・人を勇気付ける
- ・人が自分自身のことを考えるのを助ける

このような組織の基本的な考え方は、持続的な成長、能力向上、そしてメンバーの個人的幸福が単に関係者にとって利益になるだけでなく、組織全体にとって利益になるというものです。この文化を持つ組織では活発に人を訓練し、能力の開発を行っています。それはメンバー個人の生涯の計画、安全と健康、心理的な幸福が組織にとって重要な関心事であるからなのです。ロータリーは奉仕理念というミッションを共有した組織であり、その上に立ってこのような多様性を持ち、人間性重視文化をもった組織を目指すことがこれから最も大切なことではないでしょうか。

## 参考資料

### 4.010. Diversified Membership 多様な会員

A club's membership should be fully reflective of the community it serves. Every club should endeavor to have a sufficient number or proportion of members whose places of business are within the locality of the club to represent adequately business, professional, and community leaders. Each club should consider adopting a rule that the number of members in the club whose membership is based on the location of their residence within the locality of the club should not exceed 50% of the members.

(June 2007 Mtg., Bd. Dec. 226)

クラブの会員組織は、地元地域を真に反映すべきである。すべてのクラブは、事業、専門職務、および地域社会のリーダーを適切に代表するために、その職場がクラブの所在地域内にある会員が十分な人数あるいは割合となるよう努力すべきである。各クラブは、その住居がクラブの所在地域内にあることを基に入会するクラブ会員の人数が、会員数の50パーセントを超えるべきではないという規則を採択することを検討すべきである。

(2007年6月理事会会合、決定226号)

Source: January 1969 Mtg., Bd. Dec. 86; November 1987 Mtg., Bd. Dec. 89; Amended by November 2001 Mtg., Bd. Dec. 45; November 2004 Mtg., Bd. Dec. 59; June 2007 Mtg., Bd. Dec. 226

### 4.010.1. Statement on Diversity 多様性に関する声明

Rotary International recognizes the value of diversity within individual clubs. Rotary encourages clubs to assess those in their communities who are eligible for membership, under existing membership rules, and to endeavor to include an appropriate range of individuals in their clubs. A club that reflects its community with regard to professional and business classification, gender, age, religion, and ethnicity is a club with the key to its future.

(November 2008 Mtg., Bd. Dec. 87)

国際ロータリーは、個々のクラブの中にある多様性の価値を認識する。ロータリーは、既存の会員規則の下、会員資格を持つ地域社会の人々について調査し、クラブに十分な範囲の人々を含めるべく努めるようクラブに奨励している。専門職や事業の職業分類、性別、年齢、宗教、民族といった点において地域社会を反映するクラブが将来の鍵を握る。

(2008年11月理事会会合、決定87号)

Source: June 2006 Mtg., Bd. Dec. 223; Amended by November 2008 Mtg., Bd. Dec. 87

### 4.010.2. Defining "Place of Business" for Membership in Clubs



# ロータリーの歴史

## 第11回 日本のロータリーの初期の発展と解散まで（下）

### 日満ロータリー連合会

1922年に、ヨーロッパで最大のロータリークラブ数を擁するイギリスとアイルランドがRIBI Rotary International British & Ireland を結成したことから、世界各地でRIの管理から離れて、地域分権を求める気運が高まってきました。日本もこれに倣って、日本、満州、朝鮮でRIJM Rotary International Japan & Manchuria を結成しようとする「ロータリーの日本化」が、真剣に論議されるようになりました。

当時、韓国と台湾は日本の統治下にありましたから、問題はないとしても、満州が70地区に含まれていたことは、RIが満州を日本と一体のものとして認識していたものと考えられます。これに対して、1932年にホノルルで開催された第4回太平洋地域大会で、中国のクラブからは是正するようという提案がありましたが、提案を取り上げる者は誰もいませんでした。（大会に出席した平生鈇三郎談）

1931年の満州事変を契機として日米間の雲行きは怪しくなり、1933年の国際連盟脱退によって、それは決定的なものになります。その経過の中で、ロータリーの本部がアメリカにあるという理由で、陰に陽に、軍部や官憲からの圧力を受けることになります。

ロータリーはアメリカのスパイであるとか、フリーメーソンであるといった批判に対して、ロータリーのモットー Service above self は、滅私奉公であると反論した記録が残っています。そういった批判を避けるために、RIBIのようにRIからの中央集権から離れて、国家単位で管理してはという意見

がロータリアンの中で起こったため、1935年に京都で開催された地区大会に、RI会長代理として出席したサットン元RI会長に、その旨を申し入れましたが、色よい返事は貰えませんでした。

翌1936年に、神戸で開催された地区大会では、「地区の特殊事情に応じ、ロータリー精神の普及徹底を期するため、RIの機構を地区単位に改めるよう希望する」という決議をしました。同様な提案が東京の地区協議会でも出されましたが、ここではこの機構改革はロータリーの国際的意義を弱めるという理由で否決されています。

1938年比叡山で開かれた地区協議会において、東京から「RIの組織は中央集権に偏せず、その世界的拡大の趨勢に適応すべく、加入クラブの国情、風俗習慣を尊重し、地方的自治分権に進展するを以って、ロータリーの本義とし、以てその主義目的を全世界に普遍し、人類の福祉に資せざるべからず。故に第70区改正案を研究、作製し、来るべき国際大会に提出する準備を整うべく、研究委員会を組織されんことを提案する。」という提案がだされました。

この提案には米山梅吉も賛成して、自ら提案主旨の説明をし、異議なく採択されました。これに基づいて、クリーブランド国際大会に提出するために、宮脇富パストガバナーを中心とする研究委員会によって作られたのが、俗に「宮脇案」と呼ばれるものです。

1939年来日したRI副幹事のポーターは、東京、横浜で意見交換をして、宮脇案に一応の理解を示しましたが、その実現の難しさを説くと共に、急いで行動しないようにという忠告をしています。ポー

ターの忠告に従って、東京クラブは、芝染太郎幹事を横浜、神戸、京都、大阪に派遣して、意見を集約し、次の結論を出しました。

1. 国家を基調にした機構は、1927年のオステンド大会で否決されているので、実現困難である。この決定を無効にしたとしても、日満を一つの国家単位とするには数年かかる。
2. 日満の現状を正当なものとする者が増えているので、この希望は承認されると思うが、そのためには、現在の70地区を数区に分割して、これを合体したものを一つのロータリー地域として、自治管理する方が良い。この方法は既にイギリス、フランスで認められている。

この意見に従って、ガバナーや諸クラブ会長が東京に集まって協議した結果、この案を取りまとめて、1939年の別府の地区大会に提案することになりました。さらにこの別府大会の決議に基づいて、芝染太郎は特派代表として、同年開催されたクリーブランド大会に出席して、RIとの交渉に当たるわけです。

出発に先立って、米山梅吉はRI会長に宛てた次のような親書を、芝に託しています。まず前会長ウイル・メーニャの「歴史と風俗と習慣とは各国悉く異なれり。故にこれを統一的に取り扱わんとするのは誤りにして、思想上の傾向に適合せしむべく各々自由ならしむべし」の言を引用し、「東西欧亜では甚だ風俗習慣が違っているが、ロータリーの目的は明白であるから、これを忠実に実現出来れば、他の細項は各区の自治に任せばよいので、ロータリーの開祖ポール・ハリスさえ、ロータリーの到達すべき運命に適應せんとせば、ロータリーは常に徐々に進化し、又或る場合には急進的改革をも必要とすると言っている。

大会参列の諸君はこのRI機構の進化変遷に必要に注目し、第70区が提案する機構改正に虚心坦懐検討されんことを希望する。余は急進的改革を希望するのではない。ただその進化を促進し、将来の宿望に適應させる必要を認めるものである。

隣邦第79区ガバナー、フォン・セク博士は最近死去したが、その数日前余の所論に共鳴し、一緒に

支那のロータリー拡張と永久性のために共同して尽くしたいと述べた。」と結んでいます。

この第70地区からの「RIJM設立」についての提案は議案39-9として6月19日の立法委員会に提出されましたが、その際、芝染太郎は米山梅吉から託された前述の書簡を読み上げ、その全文が大会議事録に発表されました。

なお、この提案は審議されることなく、芝によって撤回されました。芝は渡米後、この提案の取り扱いについて、チェスレー・ペリー事務総長やRI理事と何回も非公式会談を重ねましたが、賛否両論がでて結論は得られませんでした。特にアルゼンチン、ペルー、ブラジルはこの提案を機会に、南米における中間管理組織を作ることを考えていたため、RIはこの提案は日満だけの問題ではなく、RIの根本を揺るがす問題だと考えました。もしも、この提案が審議されれば、大会が紛糾することは必至であるとみたRI理事会は、この提案を責任持って理事会对処することを確約した上で、芝に撤回を要請し、芝もそれを受け入れたわけです。

以上のような経緯をたどって、この提案はRI理事会の付託となり、1939年7月から、日本の第70区が第70区、第71区、第72区に分割されて、日満地区46クラブが、自治地域制度の適用を受けることとなります。

このようにして、日本は3地区に分割されました。

**第70地区・・・名古屋以東の20クラブ**

**第71地区・・・西日本、台湾の19クラブ**

**第72地区・・・朝鮮、満州の8クラブ**

第1回に日満ロータリー連合大会は、1940年5月、横浜で開催され、会長には米山梅吉が選ばれましたが、これが戦前の日本ロータリーの最後の大会となりました。この大会では、ロータリー綱領の邦訳を改めること、国名をニッポンに統一すること。皇軍への感謝、傷病兵慰問などが決議されました。

## RI脱退

この時期から、ロータリアンの涙ぐましい努力にもかかわらず、ロータリーに対する批判は収まるどころか、ますます激しさを増していきます。クラブ旗の隣に国旗をかかげ、月初めに国歌を歌うという、

現在ではごく普通の例会風景も、実は国家への忠誠心を示すために考えられた、この当時の歴史的な名残だといわれています。

ドイツでは42クラブ、オーストリアの11クラブ、イタリアの34クラブが解散し、日本でも解散を真剣に考えるクラブがでてくる一方で、弾圧による解散に先立って、国際ロータリーから自発的に離脱し、別組織として、その精神性を維持する方法を選ぶべきだという意見がでてきて、クラブ間の調整が取れない状態になってきました。

日満ロータリー連合会は緊急会議を招集して、クラブ存続の決議をして、次の電文を全クラブに発送しました。

本日の委員会に於いては此の俟存続するに決す。ロータリーの精神には疑問の余地なきと信ずるも尚、その筋の意向を確かめんとす。機構の改正を要すべきものあらば慎重検討改善を要す。

連合会の努力にもかかわらず、8月8日に静岡RCが、引き続いて8月12日に大阪RC、8月19日には岡山RCが解散します。そこで、1940年8月20日、日満ロータリー連合会は、各クラブに対して、次の通達を出しました。

1. 日満に於ける各クラブを国家単位に改組する。
2. 之を直ちにRI理事会に提出し、同時に全世界のRCに通告する。
3. この提案が実現するまで、日満ロータリーはRIとの関係を一時停止する。
4. RIがこの提案を受け入れない場合は、RIから脱退するその後、8月21日には京都RC、その後も広島、高知、金沢と解散が続いたため、9月4日、日満ロータリー連合会は総会を開催して、RIから脱退して、独自の日満連合会を組織することを決定し、その創立委員25名を指名しました。

東京RCが解散を決定したのは、9月11日のことであり、米山梅吉は、重い足を引きずるようにしながら壇上に立って、最後の挨拶をしました。

9月11日、日満連合会は最初の会合を開いて、既に大阪で作られていた定款を基に協議して新定款を起草し、9月25日の会合でこれを採択し、この

会の名称を「七曜倶楽部連合会」としましたが、この会がどのように運営されたかの資料は残っていません。

東京水曜会は1940年11月15日に190名が入会して、12月4日に帝国ホテルで創立総会を開き、大阪金曜会は99名が入会して11月15日に創立総会を開きました。その他の各クラブもロータリークラブの名前こそ外したものの、各曜会と名を変えて、従来のロータリークラブ時代と同じように、毎週一回の例会を開いていました。

戦争が始まって、物資の欠乏と共に弁当持参や、誕生祝いのケーキの代わりに水飴を贈った（東京クラブ）というエピソードが残っています。その後例会場の軍接收、空襲による破壊などによって、集まる場所を転々と変えたり、例会が休会となることも度々ありました。

物資統制のため、週報の発行が困難となり、年に数回しか発行されなかったという記録も残っていますし、大阪金曜会では月初めの例会では宣戦の詔勅が朗読され、卓話も統制経済、戦債、兵器、食料問題、大政翼賛会の話が多かったそうです。

ロータリーの組織が壊滅したにもかかわらず、その活動が継続されたことは驚異に値する事実です。戦前の日本のロータリアンの心にロータリーの理念が完全に理解されていたが故、組織がなくなっても、運動自体は何ら変ることなく継続されていたでしょう。

ロータリーの組織が壊滅したにもかかわらず、その活動が継続されたことは驚異に値する事実です。戦前の日本のロータリアンの心にロータリーの理念が完全に理解されていたが故、組織がなくなっても、運動自体は何ら変わることなく継続されていたでしょう。

(引用文献：田中毅PDG ロータリーの歴史 日本編)

(引用文献：深川純一PDG 純ちゃんコーナー

ロータリー情報)

(引用文献：米山梅吉の登音)



# ロータリー情報

## ロータリーの新しいゾーン構成が決まる

国際ロータリー理事会は、2017年1月、ロータリークラブの新しいゾーン構成を採択しました。国際ロータリー細則は、各ゾーンのロータリー会員数がほぼ均等になるよう、少なくとも8年ごとに、34あるロータリーゾーンの包括的な見直しを行うことを義務づけています。ゾーン見直しが前回に行われたのは2008年でした。

理事会は1月の会合に先立ち、アジア、ヨーロッパ/アフリカ、アメリカのゾーン再編案を作成する3つのワークグループを設置。ゾーンの代表者（現理事、次期理事、直前理事のいずれか）で構成されるこれらのワークグループが、マイケル K. マクガバン国際ロータリー副会長率いるゾーン編成委員会に提案書を提出し、同委員会がこれを1つの提案書にまとめて理事会に提出しました。「各地域のワークグループが入念な検討を行った」とジョン F. ジャーム国際ロータリー会長は述べます。「ゾーン再編はロータリー会員にとって感情的な主題でもありますが、全世界の会員にとって公平となるよう、ワークグループと理事会は勇気ある決定を行いました」理事会は2017年6月の会合で、ゾーンの区分、組み合わせ、理事選出のローテーションなど、引き続きゾーン関連の検討を行う予定です。

### 2017年1月理事会決定第94号      ゾーン再編成委員会報告決定：

理事会は

- 各ゾーンのロータリアン数がおおよそ等しく維持されるようゾーン構成を定期的に再検討することを理事会に要請しているRI細則13.010.4に従い、B13-aに示されている34ゾーンに再編成することを承認する。
- 調整されたゾーンを再検討する機会を地区やクラブに与えるために、ロータリーのウェブサイト（www.rotary.org）に新しいゾーンを公表するよう、事務総長に要請する。
- B13-bに示される新しいゾーン構成に移行のための実行スケジュールを確立する。
- ゾーン構成及びその実施に伴うその他の問題、たとえば、ゾーンの区分け、ゾーンペアリング、理事選挙のローテーションなどについて、ゾーン再編成委員会が2017年6月開催の理事会に報告できるよう、検討することを要請する。
- 上記4に関して、リエゾン（連絡）管理委員を指名するために、ゾーン再編成委員会と協議するよう管理委員長に要請する。

### 新ゾーン実施スケジュール

#### RI会長指名委員会

委員会メンバー選出	2017年 3月～ 7月
委員会会合	2017年 8月
会長ノミニー	2017年10月
国際大会で会長選挙	2018年 6月

#### RI理事指名員会

地区で委員会メンバー選出	2017-18年
委員会会合	2018年 9月
国際大会で会長選挙	2019年 6月
RI理事として任務	2020年 7月 1日 ～ 2022年 6月 30日

#### ロータリー研究会

会長ノミニーが招集者を決定	2017年12月～ 2018年 9月
新しいゾーン構成で研究会開催	2019年 8月～ 12月

### B13a 新しいゾーン構成\*

(2017年1月 RI理事会決定 第94号)

1	Bangladesh, Indonesia, Japan (northern), Pakistan
2	Guam, Japan (central), Micronesia, Northern Marianas, Palau
3	Japan (southern)
4	India (western and northern)
5	India (southern), Maldives, Sri Lanka
6	Bhutan, India (eastern), Nepal
7	India (central and southern)
8	Australia, New Zealand, Pacific Islands
9	China, Hong Kong, Macau, Mongolia, Taiwan
10	Brunei, Cambodia, Laos, Malaysia, Myanmar, Philippines, Singapore, Thailand
11	South Korea (northern)
12	South Korea (southern)
13	Andorra, Belgium, France, Luxembourg, Monaco
14	Italy, Malta, San Marino
15	Germany (northern and central)
16	Germany (southern), Israel, Switzerland
17	Aland Islands, Estonia, Finland, Latvia, Russia (western), Sweden (northern)
18	Denmark, Faroe Islands, Greenland, Iceland, Lithuania, Norway, Poland, Sweden (southern)
19	England (northern), Ireland, Isle of Man, Northern Ireland, Scotland, Wales
20	England (southern), Portugal, Spain, The Netherlands
21	Austria, Eastern Europe, Middle East
22	Africa
23	Central America, Colombia, Dominican Republic, Mexico, USA (TX), Venezuela
24	Brazil (central and northern)
25	Antarctica, Argentina, Bolivia, Brazil (southern), Chile, Ecuador, Paraguay, Peru, Uruguay
26	Canada, Russia (eastern), St. Pierre & Miquelon, USA (AK, ME, MI, NY, WA)
27	USA (CA, CO, ID, MT, NE, NV, OR, UT, WA, WY)
28	USA (AZ, CA, CO, HI, NM, NV, TX)
29	USA (IA, IL, KS, MI, MN, ND, NE, OK, SD, WI)
30	USA (AL, IN, KY, MS, OH, TN)
31	USA (AR, IL, KS, LA, MO, MS, OK, TN, TX)
32	Bermuda, Canada, USA (CT, MA, ME, NH, NJ, NY, PA, RI, VT)
33	USA (D.C., DE, MD, NC, PA, SC, TN, VA, WV)
34	The Caribbean, French Guiana, Guyana, Puerto Rico, Suriname, USA (FL, GA, SC)

\*ゾーン番号は変更の可能性がある；2017年6月理事会会合で、ゾーン区分とペアリングは決定される。

B13b 新しいゾーン構成

(日本抜粋)

Zone	地区	クラブ数	会員数	地域
1	2500	67	2261	北海道東部
	2510	69	2536	北海道西部
	2520	79	2264	岩手・宮城
	2530	66	2371	福島
	2540	42	1122	秋田
	2550	51	1705	栃木
	2560	56	2094	新潟
	2800	50	1622	山形
	2830	40	1173	青森
	3271	59	1025	パキスタン
	3272	119	2133	パキスタン
	3281	193	5332	バングラディッシュ
	3282	118	3237	バングラディッシュ
	3410	59	1154	インドネシア
3420	55	1111	インドネシア	
<b>Total</b>	<b>15</b>	<b>1123</b>	<b>31140</b>	
2	2570	51	1606	埼玉西北
	2580	70	3017	東京・沖縄
	2590	57	2050	神奈川
	2600	55	1957	長野
	2610	65	2615	石川・富山

	2620	79	2954	山梨・静岡	
	2750	100	4805	東京南部・グアム・サイパン・ミクロネシア	
2	2760	83	4743	愛知	
	2770	73	2554	埼玉南東	
	2780	65	2308	神奈川	
	2790	83	2732	千葉	
	2820	56	1939	茨木	
	2840	46	2058	群馬	
	<b>Total</b>	<b>13</b>	<b>883</b>	<b>35338</b>	
	3	2630	77	3075	三重
2640		70	1865	大阪・和歌山	
2650		97	4588	京都・奈良・滋賀・福井	
2660		81	3576	大阪	
2670		74	2951	四国	
2680		75	2831	兵庫	
2690		66	3050	岡山・鳥取・島根	
2700		61	3118	福岡	
2710		73	3282	広島・山口	
2720		74	2355	熊本・大分	
2730		65	2336	宮崎・鹿児島	
2740		57	2206	佐賀・長崎	
<b>Total</b>	<b>12</b>	<b>870</b>	<b>35233</b>		

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡中等学校正門と校舎



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置  
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌  
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

# 地区通信

## ロータリー財団100周年記念 2016-17年度 地区大会 in 福井の報告



2016-17年度 地区大会実行委員長  
中村 紀明 (敦賀RC)

前夜の雨の予報も心配しましたが、当日は日も差す穏やかな一日となりました。緊張と不安が入り交じった、地区大会の一日目が始まりました。

北 清治RI会長代理ご夫妻を迎えてハピリンホールにて1日目の地区指導者育成セミナーが始まりました。会場は能舞台を利用して行い、プロローグとして能楽の謡曲「祝い謳」を鑑賞し、厳かな雰囲気の中、北 清治様、千 玄室様の財団100周年記念講演から始まり、パネルディスカッションと3時間にわたり熱く討議されました。

夕刻からはRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が行われ250名の各クラブ会長・幹事・地区役員の皆様と共にハーブ演奏に始まり、郷土芸能の雲浜獅子の鑑賞、その後ジャズ演奏が流れる中、親睦を深め楽しく懇談しました。



そして2日目の大会本会議は場所をサンドーム福井に移し、各クラブの皆様をお迎えしました。

声楽家のリードでオープニングソング「上を向いて歩こう」を全員で斉唱したあと、今回初めての試みでフラッグセレモニーのオープニングを行い、97クラブの代表がクラブ旗を持つての登壇。その後の来賓紹介からRI会長代理のアドレスまで、なんとか時間内に終わることができました。



また、エンターテイメントショーでは福井商業高校のJETSの世界一のチアダンスをご覧いただきました。

昼食は友愛の広場と銘打って福井県の食を楽しんで頂き、郷土芸能として民謡ステージ、勝山左義長ばやし、やんしき踊り等を楽しんで頂きました。

午後からは、福井県立恐竜博物館特別館長の東 洋一先生をお招きして記念講演を聞かせて頂きました。会場内に展示しました、2体の恐竜骨格見本も今回は特別に福井県立恐竜博物館よりお借りしたものです。



ロータリー財団100周年記念映像や地区委員会活動報告からエンディングソング「花は咲く」までの1時間あまりもあっという間に過ぎ、刀根ガバナーの閉会宣言、閉会点鐘で締めくりとなりました。

反省する点も多々ございますが、会員・クラブが主役の地区大会をめざして、敦賀ロータリクラブ33名の力で成し遂げることができたのは、これもひとえに皆様のお力添えと感謝いたしております。





国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 2月 会員の動き

2月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井	橋本 一也	自動車整備
福井	増田喜一郎	再生資源卸売業
福井	田中 秀也	屋外広告
福井北	岩本 吉生	結婚式場
福井北	南 宏幸	住宅建設
武生	上野 巖	薬局
大津	山田 英樹	貨物輸送
東近江	村井 彰	ウレタン加工
京都	小杉源一郎	寝具製造販売
京丹後	岩井 慶子	税理士
京丹後	乃一 佳宏	歯科医
京都モーニング	渡邊 善忠	司法書士
京都伏見	四方田秀喜	コンビニエンスストア
京都紫野	浮田 徹	大学教授
京都洛北	細谷 昌孝	呉服
京都洛北	中野 昌彦	外科医
奈良大宮	川端 昇	旅館

2月退会者一覧

クラブ名	氏名
勝山	笠羽 涼子
長浜	野々村健俊
水口	上杉 弘
大津	向井 和也
京都西山	松田 直樹
京都南	遠藤 賢一
京都紫野	山下 裕司
京都紫野	松本 栄一
京都紫野	中島 実
京都紫野	木村 智彦
京都乙訓	中村 一弘
京都朱雀	望月まり子

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
福井北	春日井八朗
近江八幡	宮村 勳
大津	山本 藤雄
宮津	白数 淑
京都洛北	川名 卓夫

文庫通信 (355号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演他

- ◎「日本の出番、祖国は甦る」青山繁晴 2016 1p (D.2680地区大会記録誌)
- ◎「世界中の中の日本」五百旗頭 真 2016 9p (第44回ロータリー研究会報告書)
- ◎「日本のこころ」松長有慶 2015 7p (D.2660地区大会記録書)
- ◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」パネラー：前川洋一郎・山本恭人・中川雅雄 2016 6p (D.2580地区大会記念誌)
- ◎「21世紀をどう生きるか」安平和彦 [2016] 15p (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
- ◎「現代家族の課題」白石大介 [2016] 12p (D.2670・D.2680第38回RYLA報告書)
- ◎「ダウン症の娘と共に生きて」金澤泰子 2017 6p (D.2690地区大会記念誌)
- ◎「夢に向かって」根木慎志 2016 7p (D.2750第36回インターアクト年次大会報告書)
- ◎「若者の未来のためにできること」養老孟司 2015 11p (D.2660地区大会記録書)
- ◎「父が見つけてくれたもの」小林 真 2011 6P (奉仕のともしびを高く掲げて)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

Rotary  
District 2650



Kyoto  
Nara  
Shiga  
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所●  
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室  
 TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp